

島嶼産業研究会

会報

第10号 2018年11月2日(金)

【発行】島嶼産業研究会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
k9650024@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL 099-286-4291
FAX 099-286-4297
<http://international-islands.jimdo.com/>

ごあいさつ

北の大地からは初雪の知らせが聞こえてきました。寒暖の差がおおきな季節となりましたが、みなさまお変わりありませんでしょうか。さて、10月19日から24日にかけて、鹿児島県十島村にてフィールドワークを実施しました。また、11月10日、12月8日には勉強会を予定しております。詳しくは下記をご覧ください。皆様方と、研究会にてお会いできるのを楽しみにしております。

島嶼産業研究会 事務局

1. 第7回・勉強会

日時：2018年11月10日

場所：東洋大学・白山校舎6号館2階6218教室

時間：11時から18時

島嶼コミュニティ学会との共催

<島嶼産業研究会・第7回研究会>

11:10~12:10

基調講演「小さな離島の産業史と現在」 乾政秀(水土舎)

13:15~13:45

「エネルギー自給実現にむかう地域事例から検討する～離島地域におけるエネルギートランジションのあり方」 松村悠子(大阪大学)

13:45~14:15

国が島へ力を貸し手を差し伸べるとき、島に対する愛はあるのか?～有人国境離島支援プロジェクト「国境へ行こう」に関わって想うこと」 永本浩司(宿のミカタプロジェクト)

14:15~14:45

「伝統的製塩事業による地域おこしの現段階～フィジー共和国ロマワイ村を事例に」 鳥居享司、西村知、Apimeleki Cokanasiga(鹿児島大学)

<島嶼コミュニティ学会>

15:00～

「東京都島嶼医療機関からの紹介にて実施された大腸内視鏡検査」 小山茂（東京都立広尾病院）

「100年前の日本人はどんな昆虫を食べていたのか」 溝田浩二（宮城教育大学）

「明治初期キリシタンの信仰と葬儀に対する一考察」 内藤幹生（千葉県文書館）

「中国伝統武術の集団形成」 柴田文洋（島嶼コミュニティ学会会員）

18:00～

懇親会

2. 第8回・勉強会

日時：2018年12月8日

場所：鹿児島大学郡元キャンパス・国際島嶼教育研究センター5階

時間：16時30分～

「九州の奄美から近代の奄美へ」：皆村武一（鹿児島大学名誉教授）

3. 宝島・小宝島（鹿児島県十島村）フィールドワーク

2018年10月19日から24日にかけて鹿児島県十島村の宝島と小宝島を訪れました。両島の産業活動（漁業、農業、観光など）に焦点をあて、両島在住者からたくさんのお話しをお伺いしました。Iターン、Uターンの実態、漁業経営の現状と課題など、多くの事柄を学ぶことができました。

